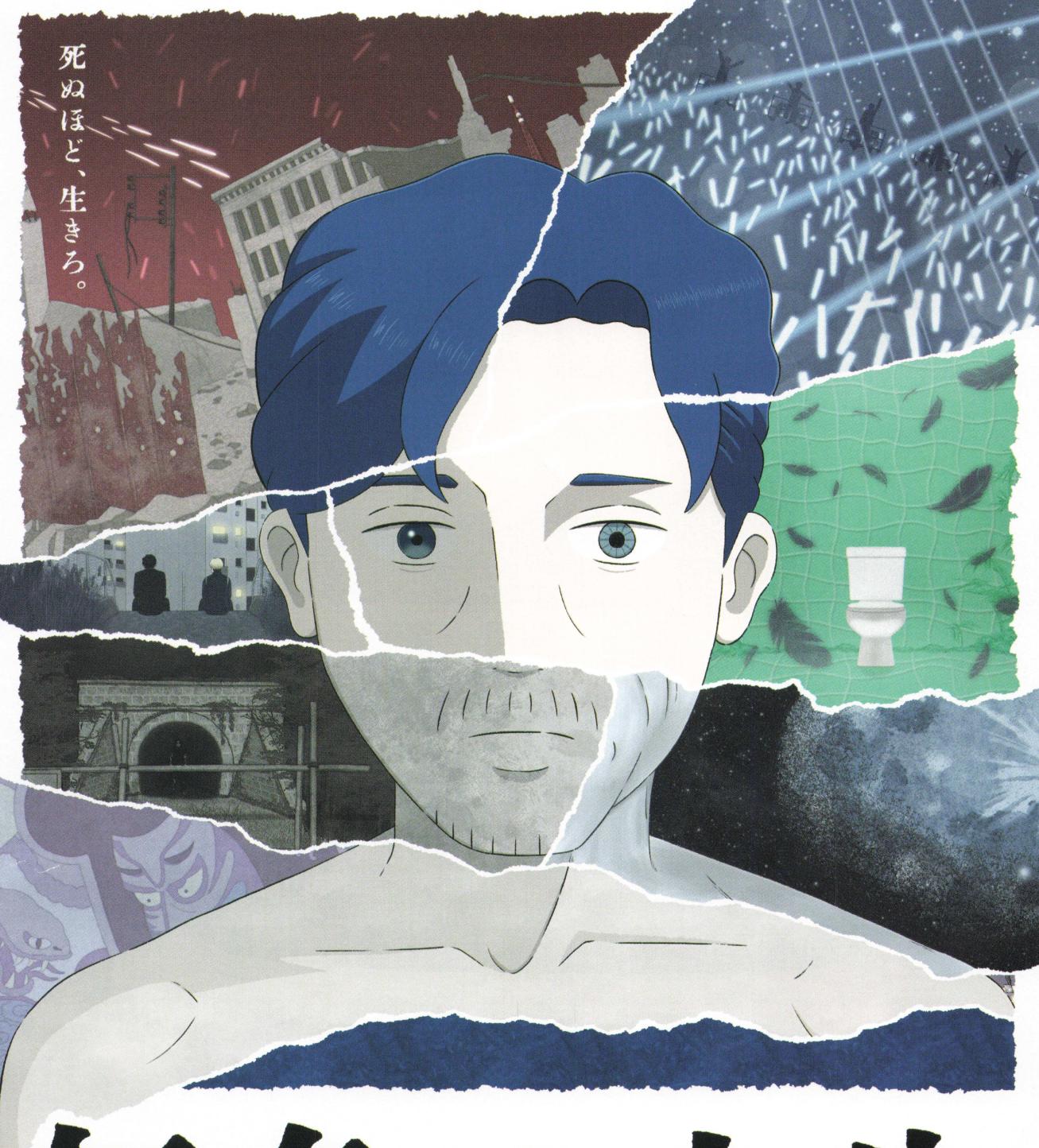


死ぬほど、生きる。



# 無名の人生

監督——原案——作画監督  
美術監督——撮影監督——色彩設計  
キャラクターデザイン——音楽——編集  
——鈴木竜也

出 演——ACE COOL  
田中偉登——宇野祥平  
猫背椿 郑玲美 錦滝恵利 西野諒太郎(シンクロニシティ)  
中島歩——毎熊克哉——大橋未歩——津田寛治

プロデューサー——岩井澤健治(『音楽』『ひやくえむ。』)  
宣伝・キャスティング協力: 平井万里子 | 撮影・特殊効果: 富田大秀  
音響監督・録音・音響効果・整音: 鈴木修二 | 音楽アレンジ: 原タ輝  
配給: ロックンロール・マウンテン | 配給協力: インターフィルム  
[ 2024年 / 93min / カラー / シネスコ / 5.1ch ] ©鈴木竜也

数々の映画祭を席巻した鈴木竜也、満を持しての劇場長編アニメーションデビュー



制作期間7年半、総作画枚数4万枚超で国内外を席巻した岩井澤健治監督作『音楽』、世界の映画賞で称賛されたストップモーションアニメ『JUNK HEAD』に続く、個人制作の長編アニメ映画

の新たな傑作が誕生——

人は生まれてから死ぬまでに、あだ名や続柄、芸名や源氏名に蔑称まで、いくつかの呼称を持ちながら、それぞれの人生を送っている——『無名の人生』は、全10章にそれぞれ主人公の 別名 を冠し「誰にも本当の名前を呼ばれることの無かった男」の波乱に満ちた100年の生涯 を描く、前代未聞の物語である。

—仙台の団地でひっそりと暮らす、いじめられっ子の主人公。やがて彼は、ある転校生との出会いから、父親の背中を追ってアイドルを夢見るよう。そこから、図らずも成り上がっていく主人公の美しくも悲哀に満ちた人生が高齢ドライバー

や芸能界の闇、若年層の不詳の死、戦争など、今まさに我々を取り巻く社会問題を背景に描かれていく。「彼」が最後に直面する、誰も見たことのない景色とは

HOTEL HOTEL HOTEL



脚本をあえて準備せず、章ごとにタッチや色彩を変化させ、観る者を飽きさせない変幻自在な映像表現を生み出したのは、短編作品がぴあフィルムフェスティバル、下北沢映画祭ほか国内の映画祭を席巻した新鋭・鈴木竜也。

たった一人で監督・原案・作画監督・美術監督・

撮影監督・色彩設計・キャラクターデザイン・音楽・編集を兼任し満を持しての長編アニメーション監督デビューを果たす。そして、声の出演は、監督たっての希望で抜擢された孤高のラッパー、ACE COOL。少ない台詞ながらも主人公の心の揺らぎと悲哀を繊細に表現した。そのほか、田中偉登、宇野祥平、猫背椿、鄭玲美、鎌滝恵利、西野諒太郎、中島歩、毎熊克哉、大橋未歩、津田寛治ら、監督の孤高の映画作りと、唯一無二の作風に共鳴したキャストが集結。長編アニメーションの新たな傑作がここに誕生した。

【名画座2本立て】12/26(金)～12/31(水)(1/1(木)休館)上映

併映作品『かたつむりのメモワール』

JR 東北新幹線・東北・東北新幹線 5F

ト テアトルシネマグループ

キネマ大森

03(3762)6000 ttcc.jp